

「企業のものづくり人材育成強化ワーキンググループ」における検討状況について

現状と課題

- 企業が付加価値の高い製品を市場に供給し競争力を高めていくためには、専門技術の高度化、多様化を図ることが重要であることから、専門性を有する技能者や技術者の育成を進めるとともに、特に、地場企業の自動車産業や電気電子産業等への参入に当たって、これらが求める品質やコスト、納期等に対応していくための人材の育成が必要
- 国、教育機関、人材育成機関など様々な機関で産業人材の育成に向けた取組が行われていることから、これらの一元的な情報提供が重要

検討テーマ

- ◎ものづくり産業の人材育成
 - ・地場企業のQCD（品質、コスト、納期）対応力の強化に向けた人材育成の取組を促進するなどものづくり産業の人材育成の取組を強化
- ◎人材育成に関する情報提供の充実
 - ・企業の人材育成の促進のため、人材育成事例、支援制度、教育訓練情報など人材育成に関する総合的な情報提供を実施

H20における検討結果を受けて

WG検討結果→さまざまなツールを活用して取組を推進

- ネットワークの関係機関との連携
- 道の政策検討・予算事業
- 経済産業省の企業立地促進法による人材養成等支援事業
- 厚生労働省の「地域ものづくり人材育成支援事業」（H21新規事業）

H21取組内容

- ものづくり産業の人材育成強化
 - ①業界対応型オーダーメイド専門研修の実施《現場力養成実践研修事業(国)、「どさんこ塾」人づくり推進事業(道)》
 - ②3D-CAD設計技術者育成講座の実施《地域企業立地促進等事業費補助金(国)》
 - ③生産管理技術・生産技術・品質管理技術のセミナー・ゼミナール等の実施《ものづくり産業発展力強化事業(道)》
 - ④ものづくり基礎技術研修による人材育成事業（カリキュラム、指導マニュアルの開発等）
《地域ものづくり人材育成支援事業(国)》
 - ⑤企業間交流、異業種交流による人材育成事業（企業間インターンシップ、QCサークル活動促進）
《地域ものづくり人材育成支援事業(国)》
- 人材育成に関する総合的な情報提供
 - ①産業人材ネットワークのHPの充実（ポータルサイト機能・リニューアル）《緊急雇用創出推進事業(国)》

H22に向けた検討の方向性

- 【継続検討項目】 ○関係機関が連携した共同事業の検討
- ・各構成機関が役割分担のもと、特定の仕上がり像を目指した機能的な研修の実施
 - ・自ら考え自ら課題解決出来る人材の育成
 - ・人材育成優良事例集の作成
 - ・産業人材育成ガイドブックの作成
 - ・関係機関共同によるテーマ別研修・講座情報の提供
 - ・その他の共同事業の検討
- など

【その他新規検討項目の洗出し】

H22に向けた検討の経過

- ・人材育成優良事例については、各機関で統一的な情報提供が出来るよう基準やフォーマットを整備する必要がある。
 - ・各機関が直接、ポータルサイトにログインしての情報提供は負担感がある。
 - ・ポータルサイトとの整備には賛成
 - ・ポータルサイトと各機関のメルマガとの整理等は必要。
 - ・研修等はそれぞれの機関の経緯があり、一緒にやるのは難しい
- など

H22取組方向のイメージ

- ・関係機関が連携したセミナー・研修等の実施
 - ・ポータルサイトの運営
- など

WGメンバー

北海道経済産業局、北海道労働局、中小企業基盤整備機構、雇用・能力開発機構、北海道経済連合会、北海道機械工業会、北海道中小企業総合支援センター、北海道職業能力開発協会、北海道（人材育成課・産業振興課・工業試験場）

開催実績

20年度第1回WG	H20.10.20
第2回WG	H20.12.18
第3回WG	H21.2.9
21年度第1回WG	H21.9.15